プラスグループのあゆみ

プラス株式会社の歩みは 1948 年、東京で事務用品卸を営んでいた今泉商店と鈴木商店が合併して設立した千代田文具株式会社に始まります。1959 年に「プラス株式会社」へ商号変更。この社名には、二つの商店が一緒になった＝“＋” されたということに由来するとともに、世の中にプラスになる会社にしていきたいという想いが込められています。当時「○○事務機」や「△△文具卸」といった、取扱商品や業種名をつけた会社名が多い中で、それらを使わない会社名にしたことは、将来の業容発展を考慮したものでもありました。以来、文具・事務用品卸→ブランド･メーカー→自社工場をもつ本格的メーカーへと着実に転進し、メーカーとして製品開発に意欲的に取り組んでまいりました。

一方、業界の商習慣や文具・オフィス家具といった取扱商品の範囲にこだわらない独自の流通サービス〈アスクル、ビズネット〉を発明するなど、市場創造にも鋭意挑戦し続けてきました。

刻々と変化する経済環境に対し、最適な経営体制を常に追求しながら、プラス株式会社はメーカー、流通の各事業に取り組むとともに、物流や製造・販売などを担う国内外グループ各社のマネージメント会社として、お客様満足の最大化を目指しています。

1948 年
・千代田文具株式会社を設立

1959 年
・プラス株式会社に商号変更

1960 年
・プラススチール工業（株）を設立

1984 年
・市場に先駆け、電子黒板「ボードファックス」を開発・発売
（1984 年　日経優秀製品・サービス賞　優秀賞を受賞）
・パーソナル文具セット「チームデミ」を発売
累計約 650 万個発売のメガヒットとなる
（1985 年日経優秀製品・サービス賞　優秀賞ほか、多々受賞）

1991 年
・オフィス家具工場を核にし、産業複合施設「プラスランド」竣工
製造卸から自社工場を持つ本格的メーカーに

1996 年
・ベトナム・ドンナイ省に「ビエンホア工場」竣工

1997 年
・アスクル（株）を設立

2000 年
・ビズネット（株）を設立
・中国広東省に汕頭普楽士儀器有限公司を設立
電子黒板等を製造・販売

2001 年
・プラスの主力営業部門と有力卸が一緒になって、
ジョインテックス（株）を設立（のちにプラス（株）と合併）
・プラスランド内に工房を備えた木製家具工場
「アトリエファクトリー」を竣工

2006 年
・東京都千代田区永田町に「＋PLUS」をオープン

2007 年
・個人情報保護スタンプ「ケシポン」を発売
文字で文字を隠す新発想が支持され、初年度 120 万個発売のヒットとなる（2008年日経優秀製品･サービス賞､優秀賞を受賞）
・オランダ・ヘルダーランド州に文具・事務用品の欧州物流拠点を開設

2010 年
・ベトナム・ドンナイ省「ヌンチャク工場」を竣工
・ドイツ・デュッセルドルフ市に文具・事務用品の欧州販売子会社を設立

2014 年
・プラスベトナム工業「ヌンチャク工場」増床。ハサミの生産を開始

2015 年
・「PLUS のココロ」制定

2016 年
・CSR 地域貢献『プラス全国一斉清掃活動』を実施

2018 年
・本社・虎ノ門オフィスを増床リニューアル

2019 年
・アピカ（株）と（株）キョクトウ・アソシエイツが事業統合し、
日本ノート（株）としてスタート

2020 年
・プラス（株）ステーショナリーカンパニー、日本ノート（株）、
セーラー万年筆（株）、オキナ（株）の国内営業業務を統合し、
コーラス（株）としてスタート

2021 年
・セーラー万年筆（株）と共同で DtoC ブランド「ancora
（アンコーラ）」を立ち上げ、東京・銀座にリアルショップを
オープン